（第3種郵便物認可）

19 中止　20 中止　22 11-6　23 15:00 ナゴヤD　24 14:00 ナゴヤD　26 18:00 横浜　27 18:00 横浜　28 18:00 横浜　29 18:00 マツダ　30 14:00 マツダ

いずれも今季最多 先発野手全員 15安打 11点 昇竜祭りだ

中日 11－6 ヤクルト

初回、打者一巡の猛攻で4点

追いつかれた直後 杉ちゃんV打

◆今季初の2桁得点　中日の2桁得点は今季初で昨年5月20日の広島戦（豊橋＝○11－6）以来。初回の4得点は昨年9月20日の巨人戦（ナゴヤドーム）での5得点以来で、今季の初回は2得点（6日DeNA戦、15日阪神戦）が最多だった。1試合15安打も今季最多。

中日―ヤクルト　3回裏1死一、三塁、杉山が勝ち越しの中前適時打を放つ＝ナゴヤドームで（金田好弘撮影）

若松のため 捕手の責任感

責任感の強さが生んだ勝ち越し打だった。4点差を追いつかれた直後の3回1死一、三塁。打席の杉山はいつも以上に気力をみなぎらせていた。

「若松が苦しんでいた状況だったし、自分も（捕手として）助けられなかった。とにかく勝ち越す一打、とにかく1点という気持ちで打った」

変化球を続けた石川の4球目、甘いチェンジアップをたたき、中前へはじき返した。三塁走者のナニータが悠々と生還。再び若松に勝利投手の権利が発生した。

5回はタイムリー三塁打

8－4の5回には適時三塁打。無死一塁で右中間を破ると「外野手の追い方が最初から深い位置へ向いていたので三つ行けると思った」とちゅうちょせずに三塁へ。4月5日のDeNA戦に続くプロ入り2本目の三塁打で5点差に広げ、若松の白星を後押しした。

ただ、仲の良い若松を支えられなかった悔しさは消えなかった。試合後は30分以上も小川バッテリーコーチらと反省会。「勝ったことが唯一の救い。4点も取られたことが問題だし、どう考えてもそっち（リード）の方が気になる」と笑顔はなかった。

序盤は両チームが得点を奪い合う荒れた展開。杉山が勝ち越し打を放った後の3回2死満塁では、貴重な2点適時打が荒木のバットから飛び出した。

代わったばかりの松岡に追い込まれながら、カウント2－2からのカーブを中前へ。2走者を迎え入れ、点差を3に広げた。

「自分は精一杯やるだけ」

熊本県出身。1回無死一塁では4点の先制点へつながる左前打を放った。14日夜に発生した熊本地震後は初の安打。他の熊本県出身選手と比べ、故郷への思いを口にすることは少ないが、試合後は「こういう状況なので。自分は元気なプレーを見せることしかできないが、精一杯やるだけ」と思いの一端を明かした。

5日ぶりの試合でぎこちなくした部分はあったものの、今季初の先発野手全員安打。攻撃陣の活躍で連勝を伸ばした。（堤誠人）

熊本に届け！ 荒木2安打2打点

3回裏2死満塁、荒木が中前に2点打を放ち一塁に向かう（篠原麻希撮影）

先制打だ三塁打

3 高橋

高橋が先制打＆2試合連続マルチ安打で4連勝に貢献した。1回は無死一、三塁から左前適時打を放つと、8回先頭では右中間を破る三塁打でダメ押し点を呼び込んだ。「1回は積極的にいきました。チャンスで打てたのはよかったです」。2安打1打点で打率も3割1分7厘と3割をキープ。3番打者としての地位を築きつつある。

高めを狙い打ち!!

60 ナニータ

ナニータは相手先発が左の石川で、かつ主砲の平田が復帰しても5番で起用されると4打数2安打1打点。1回は無死満塁から右前適時打で2点目をたたき出した。

「（1回は）高めの球を待っていて、うまく仕留められた。前の打者がいい感じできていたので、その流れに乗っていったよ」。同点になった3回も右中間への二塁打で勝ち越しの本塁を踏むなど大活躍だった。

4点目タイムリー

63 堂上

堂上が今季3度目のマルチ安打で存在感を示した。1回は無死満塁から4点目となる左前適時打。5回は右前打で出塁すると、杉山の右中間三塁打で一塁から一気に生還した。

「（1回は）センターに強い当たりを打とうと思っていたら、うまく引っかかってくれた。飛んだところがよかったです」。試合後は充実した表情を浮かべていた。

左打者3人斬り

13 岩瀬

岩瀬が5番手で登板すると火消しに成功。大量リードとはいえ、4番手の祖父江がの登板に「大昔にやった8回無死一、二塁のピンチから武内、坂口、川端と左打者3人をすべて内野ゴロにとどめた。ピンチでも覚は残っている。まあ、自分の仕事をしていくだけ」。この日は1㌔無失点で、今季は計3試合で無安打無失点。安定感は抜群だ。

今回も100球がメド

19 吉見

吉見が23日のヤクルト戦（ナゴヤドーム）で先発する。右肘手術の影響で出遅れ、今季初登板となった前回4月9日の巨人戦（ナゴヤドーム）では7㌔を5安打無失点。その後は右肘の状態を考慮して翌日に出場選手登録を抹消。今回は中13日での登板となる。前回が91球だったように今回も100球がメド。

「7㌔、100球をしっかり投げ込みたい。あした（のヤクルト先発）はライアン（小川）なんで、負けないように投げたい」と気合を入れた。

Dragons 中日ドラゴンズモバイルサイト ドラゴンズ情報
創設80周年 共に戦おう 日本一へ！

フォトサービス
ドラゴンズの掲載写真を実費でお分けします。申し込みは中日新聞フォトサービス＝☎052（203）4500へ。土、日、祝日は休み。

レイアウト☆寺沢　賢